

はまやま まも かい にしにおりみのるかいちよう ひだり なか おかず お
「浜山を守る会」の錦織 稔 会長(左)、中尾一男
ふくかいちよう みぎ ぼきん てわた じどう がつ にち いずも
副会長(右)に募金を手渡す児童 = 3月19日、出雲
しまつよりしもちよう しりつたかまつしょうがっこう
市松寄下町の市立高松小学校

浜山の黒松守れ



地域の自然と歴史を未来へつなごうと、出雲市立高松小学校(同市松寄下町)の4年生が3月19日、「浜山を守る会」に募金を寄贈しました。児童たちの呼びかけで集まった善意は、黒松林の保全活動に活用されます。募金活動は、総合学習で地域の偉人・井上恵助翁の業績を学んだことがきっかけ。児童たちは「自分たちでできること」を話し合い、保護者らに協力を呼びかけました。その結果、4年4組を中心に計9191

高松地区 小学生が募金寄贈

円が集まり、教室で同会に手渡しました。浜山の黒松は、江戸時代中頃、砂丘地で農地や春らしが脅かされてきた地域を守るため、井上恵助翁が私財を投じて植林に成功したものの。約22年をかけた115ヘクタールに約90万本が植えられたとされています。現在も間引きや下草刈り、植栽などの保全活動が続けられています。同会の錦織稔会長は「恵助翁が成し遂げた黒松林を次世代へ残したい。子どもたちの思いがこもった募金は、手入れに使う道具の購入などに大切に活用したい」と感謝を述べました。児童たちは地域の歴史と自然に触れながら、その価値を自ら考え行動に移しました。浜山の黒松を守る取り組みは、世代を超えて受け継がれていきます。



高城権八 (松江市・国宝松江城課 提供)

は、銅山経営で知り合った栄忠にお金を工面できない

勝部本右衛門栄忠は、明治の初めに息子・景浜や元松江藩士・高城権八とともに松江城を解体の危機から救い、保存に尽力した偉人です。栄忠は江戸時代後期の1796(寛永8)年、出雲郡出東村(現在の出雲市斐川町坂田)の地主で、代々豪農だった勝部家の7代目として生まれました。農業を営むかたわら、茶道や書画、和歌などを好んだ文化人として知られています。明治時代初期に廃城令(※1)が出され、全国にあった城の多くが解体・撤去されました。松江城も1871(明治4)年に廃城が決定。天守部分は解体を免れたものの、民間に180円(※2)で払い下げられることになりました。松江藩の銅山方役人だった権八

勝部本右衛門栄忠 (1796 - 1886)

松江城を解体の危機から救う



勝部本右衛門栄忠 (松江市・国宝松江城課 提供)

シリーズ 郷土の偉人 30



※1:明治時代初期の一般的な月収は約1円から3円程度で、180円は当時の年収で約5年から15年分に相当する。

か相談。話を聞いた栄忠・景浜親子は買い取りを決意し、落札金額と同額の180円を納めて買い戻し、天守を解体から守りました。2010(平成22)年、地元・斐川東中学校の生徒が「松江城を救ったお百姓さん」という紙芝居を製作。栄忠・景浜親子の偉業を今に伝えています。国宝・松江城は、2027(令和9)年度から2029(令和11)年度までの3年間かけて、約70年ぶりの大規模な補修修理を予定。日本が誇る名城として、今も人々から大切にされています。

MKFC
みもりキッズ・ファミリークリニック
院長 南 憲明
〒693-0051 島根県出雲市小山町442-2
TEL:0853-25-8860/FAX:0853-25-8870
ホームページ <https://www.mimori-kids.jp/>

嘉村 医院
内科
診療時間
月 火 水 木 金 土 日
8:30~12:00 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ×
13:30~15:30(往診) ○ ○ ○ × ○ ○ ×
16:00~18:00 ○ ○ ○ × ○ × ×
糖尿病学会認定専門医 嘉村 正徳
出雲市上島町1025
TEL(0853) 48-0666 FAX48-9022

小山皮膚科クリニック
院長 医学博士 皮膚科専門医 中川 優生
診療時間
月 火 水 木 金 土 日
9:00~12:30 ● ● ● / ● ● /
15:00~18:00 ● ● ● / ● / /
出雲市小山町269-4
TEL(0853) 25-7212